

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 5 月 7 日現在

機関番号：33919

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2010～2012

課題番号：22530286

研究課題名（和文） R & D 技術形成の現状と課題—タイ・マレーシア自動車部品産業—

研究課題名（英文） The Status Quo and Problems of R&D: In the Case of Thai and Malaysian Automobile Parts Industry

研究代表者

佐土井 有里 (SADOI YURI)

名城大学・経済学部・教授

研究者番号：20387757

研究成果の概要（和文）：

タイとマレーシアにおける R & D 技術形成の現状と課題について、両国における現地調査により技術形成過程を分析し、問題点を提示した。

研究成果は、24年に名城大学に関連研究者・協力研究者を招聘して国際研究会を主宰した。研究論文報告と議論の結果を国際研究会論文集にまとめ、研究者との連携を強化し、今後の研究の方向性を確認した。査読付きジャーナルに論文を掲載し、編著書を1冊出版した。

研究成果の概要（英文）：

During the three-year research project, I have organized one international conference at Meijo University by inviting researchers from overseas and edited the conference proceedings. Through the active discussion of the research papers, international joint research cooperation has been emphasized and confirmed continuous research activities among the scholars. I have published papers in international journals and one edited book.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	800,000	240,000	1,040,000
2011年度	600,000	180,000	780,000
2012年度	700,000	210,000	910,000
年度			
年度			
総計	2,100,000	630,000	2,730,000

研究分野：経済学

科研費の分科・細目：経済政策

キーワード：R&D, 技術形成、自動車部品、タイ、マレーシア

1. 研究開始当初の背景

工業化により経済発展を果たそうとするアジアの新興国にとって、幅広い裾野産業を有する自動車産業の育成は国の産業政策の中でも重要な役割を持つ。

ASEANにおいて、タイ・マレーシアは、経済発展の牽引役を果たしつつあり、両国共に工業化を進める政策として自動車生産を重要視していた。特にタイは、2000年以降

自動車産業のASEANのハブ的役割を果たしつつあり、急激に自動車産業の集積地としての地位を確立してきている。一方マレーシアは、1980年代より国策としての国民車政策として自動車産業の強化を進めているが、タイに比べると発展スピードが遅く、技術・品質面でも出遅れている。

経済発展の中進国として、タイ・マレーシアは中進国の陥りやすい経済停滞から抜け

出すことは今後の発展のための重要課題である。そのためには、今後の技術力・人材力の向上による技術革新への基盤作りをいかに進めるのかは、他の中進国にも大いに参考になる研究課題である。

2. 研究の目的

本研究の目的は、ASEANにおける自動車生産のハブ的拠点的形成しつつあるタイ・マレーシアが、世界不況時にして生産・開発部門における技術形成を果たし、より付加価値の高いエンジニアリングハブへと転換を図るのか、人的技術形成の観点から分析することにある。

特に幅広い技術・製造方法を要する自動車部品産業に注目し、いかにして技術者の技術レベルを向上させ、エンジニアリングハブとしての人材育成・技術形成を推進しているのか、また問題点はどこにあるのかを分析することを目的とした。

3. 研究の方法

タイ・マレーシアでの現地調査を中心に、現地研究者・企業関係者との協力体制を築き、長年にわたる人的技術習得の継続調査を中心とした。

現地調査としては、タイ・マレーシアに毎年2-3回継続調査し、自動車部品産業での企業内教育の方法と成果の分析、官民共同による技術教育体制の調査・実施内容のモニタリング調査による分析評価を毎年行った。特にタイ・マレーシア現地企業との協力体制を築きながら、長年にわたる分析を重視した。

タイはタマサート大学の研究者との共同研究を強め、1年間タマサート大学の教員1名を名城大学の外国人招聘研究員として招聘し、日本で共同研究を1年間実施した。

マレーシアでは、マラヤ大学の研究者を中心に研究協力を得た。また、UKMにても同分野の研究者と学会を通して連携を持ち、調査協力を得た。

このようなタイ・マレーシアにおける現地企業と大学との協力体制により、現地調査の際には、効果的な調査を短期間におこなうことが可能となり、その後の経過報告や、現地に行けない場合の調査協力もある程度連携を持てるようになった。

4. 研究成果

研究成果として、タイ、マレーシアそれぞれにおいて、主に以下の論文内容を発表した。タイについては、タイの自動車部品産業における技術者の技術力を、必要技術別に洗い出し、分析した論文を発表し、国際学会にて報告、その後著書にて出版した。

マレーシアについては、マレーシア政府と日本政府・企業協力して実施しているMA J

AICO (マレーシア日本自動車産業技術協力) プロジェクトを調査し、マレーシアでの官民協力しての技術向上への取り組みの実施内容、進捗状況、課題・問題点を分析し、国際学会、論文発表を行った。研究成果の公表は以下の5項に記載の通りである。

活動成果としては、国際研究会を主宰し、関連研究者・協力研究者を名城大学に招聘し、研究論文報告と活発な議論をおこない国際研究会論文集をまとめた。この国際研究会の主宰により、国内外の研究者との研究調査連携を強化し、プロジェクト期間内には活発な調査協力、共同研究、研究者の広がりを持つことが出来た。さらには、今後の研究の方向性を確認し、将来に向けての長年の調査分析を可能としたことが、将来の研究体制の強化につながると確信している。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計6件)

- ① Sadoi, Yuri (2013) The Transition of the Japanese Technology Transfer: The Role of Thailand as a Training Hub in ASEAN, *Research Institute of Meijo University* Vol 12. 掲載予定
- ② Sadoi, Yuri & Wu, Chia-Chen (2013) Technology Accumulation and the Division of Labour between China, Taiwan, and Japan: A Case of Liquid Crystal Display Production, *The Meijo Review*, Vol 13(4), pp 9-28.
- ③ Sadoi, Yuri (2012) Public-Private Partnership Human Resource Development Processes in the Automotive Industry in Malaysia, *The 8th International Malaysian Studies Conference Proceedings: Selected Full Papers*, 7-11 July 2012, UKM Malaysia. Vol 1, p412-428,
- ④ Sadoi, Yuri, (2012) Development Process of Economic Integration in East Asian Community, *Proceedings of International Seminar, Global*

Security and International Cooperation of Japan, China and South Korea in East Asia 2012 3-14. pp 1-22.

- ⑤ Sadoi, Yuri. (2012) International Division of Labour in Japanese Human Resource Development in ASEAN, *Proceedings of International Workshop Economic Integration in Asia* 2012 2-28, pp 1-18.
- ⑥ Sadoi, Yuri. (2011) Technology Accumulation and the Division of Labour between China, Taiwan and Japan: Taiwanese Automotive Parts and Die and Mould Firms in China, *International Journal of Institutions and Economics* 2011 Oct. Vol.3, No.3 pp 397-414.

[学会発表] (計 5 件)

- ① Sadoi, Yuri (2012) The Transition of the Japanese Technology Transfer: The Role of Thailand as a Training Hub in ASEAN, 3rd Copenhagen Conference on “Emerging Multinationals: Outward Investment from Emerging and Developing Economies, Denmark Copenhagen, Copenhagen Business School, 25 October
- ② Sadoi, Yuri (2012) Theoretical Study on Technology Transfer International Workshop on Assistance for Developing Manufacturing Human Resources: Cases of Thai and Malaysian Supporting industries タイ・タマサート大学
- ③ Sadoi, Yuri (2011) Technology Transfer: The Japanese Contribution

on Human Resources Development International Contribution of China, Japan and South Korea in the Globalization Era 中国上海 復旦大学

- ④ Sadoi, Yuri (2011) Technology Transfer in High-precision Manufacturing: the Japanese Contribution on Human Resources Development, International Seminar on ASIAN Cities in the Globalization, Ho Chi Minh City, Vietnam
- ⑤ Sadoi, Yuri (2010) The Technology Accumulation and International Division of Labour among China, Taiwan and Japan: Taiwanese automobile parts and die & mould industries in China, The 8th Globelics International Conference, Kuala Lumpur, Malaysia

[図書] (計 1 件)

- ① Rajah Rasiah, Yeo Lin, and Yuri Sadoi eds. (2012) *Innovation and Industrialization in Asia*, Routledge, Oxon UK and New York

[図書の中の章] (計 3 件)

- ① Yuri Sadoi (2012) Technological capability of automobile parts suppliers in Thailand p.101-115 in Rajah Rasiah, Yeo Lin, and Yuri Sadoi eds. (2012) *Innovation and Industrialization in Asia*, Routledge, Oxon UK and New York
- ② Rajah Rasiah, Yeo Lin and Yuri Sadoi (2012) Explaining technological catch-up in Asia, p 1-5 in Rajah Rasiah, Yeo Lin, and Yuri Sadoi eds. (2012) *Innovation and*

Industrialization in Asia, Routledge,

Oxon UK and New York

- ③ Sadoi, Yuri (2012) Development
Process of Economic Integration for
the East Asian Community, in KIHS
eds. *Regional Dynamics in East Asia:
Issues and Perspectives*, HANDA:
Seoul South Korea.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

佐土井有里 (SADOI YURI)

名城大学・経済学部・教授

研究者番号 : 20387757